ウカムの Compendium を譯載することにした．勿論これは敢へて新しい書物といふのではない．しかし，初等天文學を卒へた人は次ぎに此の程度の書物を基礎として學術の殿堂の奥へ更に一歩進まれんことを望むのである．

サイモン・ニウカムは，1835年に生れ，1908年に死んだ學者であるが，球面天文學上の近代の權威であつた．通俗書も澤山書いたが，Compendium の此の一書は學界の絶讃を博したものであつて，專門家も今尙座右に置くべき書物であるが，三十年來全く絶版となつて了つて，海外に於いても，殆んど手に入らない．我が國に於いても諸所の學府を通じてホンの數冊しか保存されてゐないものである．自分は之を專門家のために譯すると同時に，高等學術に接觸したいアマチュアたちのためにも，一つの標準書として提供したいのである．天文月報第34卷第74頁を見ると，故蘆野教授は此の書を水路部のために譯された由であるが，出版されてゐないから，學界には現はれない．自分は自ら之れを逐字譯にしたのだけれど，どうも英文の直譯では日本語にならないので，本誌のためには幾らか自由な形に譯した．しかし，數式は一つも省略してゐないし，說明文も決して要領を棄ててゐないから，安心して讀んで頂けると思ふ．全部で200頁ぐらゐになる筈であるから完了するには2ケ年ほどかゝると思ふが，此の間に，ゆつくり味はひ味はひ讀んで貰へば必ず益する所は多いと信じる．

總會のプログラム

既報の如く，來る六月27日（日曜日）13時より本會の定期總會を開く（但し空襲・警戒警報等あれば中止）．次第は次の通り：

場所：神戸市神戸區　神戸國民學校講堂
東海道線"元町驛"（電車のみ停車）にて下車，山の手の方へ約100米

記念講演："天文學と國民性"　會長　山本一清氏
"北海道の日蝕"　理事　木邊成麿氏

研究報告："新時代の天文教育について"
教育部長　高城武夫氏

事務報告：　理事　中村覺氏，其他

協議と役員改選：　理事長　宮森作造氏

學績表彰：　觀測部長　木邊成麿氏

親睦と懇談：

會費不要．時局がら萬事簡略とし，例年の晩餐會は行はず．16時頃に終了の見込．

(1943-5-20)　　東亞天文協會

天界索引（第22卷＝昭和17年）：近刊號に掲載の豫定．

々吾が太陽よりも大きいと申されましたね”“はい，そうです”“之らの幾つかの太陽を巡る遊星があり，其の上，生物が居るのは可能だと申されましたね”“はい，さうです”と天文學者は答へた．“よく譯りました．シカゴ市長に任命されるやうな人物も大して差異のある人ではないんだ！”とは，此の訪問者の別れの言葉であつた．政治に對する此の人の興味は減じなかつたが，最新の望遠鏡の接眼鏡を覗いた二三分間より，宇宙に於ける人間の位置と身分に關する重要なる教訓を學んだのである．(A. S. P. L. 78., 佐登兒譯)

天界に現れたコペルニク關係記事

天界	30號，164頁	E. S. キング：コペルニクの紀念（生誕450年記念の文）
星	4號，18頁	アルフレド・ノイエス：コペルニク（詩）
天界	117號，107頁	
〃	125號，40頁	コペルニクの原著出版について（“天體廻轉論”原著の一頁の寫眞とその説明）
〃	174號，口絵	コペルニクの像（ワルソー市に在る記念碑の寫眞）
〃	221號，340頁	ドイツでコペルニク祭（1939年，ケニグスベルクにて行はれた．天界新知識）
〃	230號，(249)頁	コペルニクの言葉（“天體廻轉論”第一卷總論の譯）
〃	234號，418頁	コペルニク時代の天文思想斷片（“歳差”に關する意見など．天界新知識）
〃	236號，57頁	トルン記念碑の表題字（雜報）
〃	255號，295頁	コペルニク全集の刊行計畫など（雜報）
〃	262號，(395頁	コペルニクは水星を見なかつたか？（“天體廻轉論”第5章の一部譯）

會員に關する報告

(18-4-30締切)

【入　會】

奥田　愃一(京都)　×海老原勇夫(東京)　×陶山正三郎(富山)　滿洲第516部隊
松尾　孚(東京)　深見　嘉之(新京)　×石風　武人(日立)　×大原　豊和(市川)
本多　恒(東京)　長坂雄二郎(兵庫)　劉　保　康(北京)　長谷川浩作(神戸)
畠瀾　弘子(岡山)　×青木　研甫(神戸)　滿洲第725部隊　川瀬　利明(東京)
森本　梅雄(東京)　大野　恒之(廣島)　松尾　郁雄(長崎)　小川　清彦(東京)
癸生川昭一(宇都宮)　伏田　福(山口)　竹中忠太郎(池田)　×平野　耕作(神戸)
磯村　茂春(東京)　×山内　太一(大阪)　桑原　貫一(朝鮮)　飯古　博通(大阪)
高橋　初子(東京)　柏原　中學(兵庫)　眞殿　邦平(岡山)　塚本　嘉男(布施)
楠田　治雄(大阪)　吉浦　要(横須賀)　松田　安弘(西宮)　北村　總一(山形)
武智　昭夫(愛媛)　山中　清(神戸)　石田　正巳(宇部)

(×印は觀測部入部を兼ぬ)

【觀測部入部】

村田　旭(山口)　恒岡　美和(姫路)　藤吉　泰男(福岡)
和田　傳(大連)

注意：御移轉の節には直ちに（前住所をも並記して）御通知下さい．觀測部の方は其旨附記して下さい．なほ，會費・部費等の入金通知は直接にお送りします．

(東亞天文協會事務局)